

第1回豊川市スポーツ振興計画（改訂版）策定委員会 会議録

・日 時 平成26年8月12日（火）午後2時00分～午後4時10分

・場 所 豊川市音羽文化ホール（2階）第1会議室

・出席者

（策定委員）

浅野委員・杉浦委員・寺部委員・柴田委員・神谷委員・北国委員

荻野委員・伊藤委員・加藤委員

（事務局）

近藤教育部長・柴谷教育部次長

中村スポーツ課長・戸苅課長補佐・小木曾係長・山口主事

・欠席者

（策定委員）壁谷委員

・傍聴者 1名

開 会

（事務局：戸苅課長補佐）

ただいまより、第1回豊川市スポーツ振興計画策定委員会を開催させていただきます。

なお、本委員会は、豊川市審議会等見える化ガイドラインの規定に基づき、公開により開催し、会議録につきましても後日公開されることを申し添えます。

1 あいさつ

（近藤教育部長：あいさつ）

2 自己紹介

（事務局：戸苅課長補佐）

本日は、第1回目の委員会でありますので、ここで各委員さんより、自己紹介をお願いしたいと思います。資料1の本委員会の名簿の上から順番に簡単に自己紹介をお願いいたします。

(各委員・事務局：自己紹介)

(事務局：戸苅課長補佐)

なお、豊川市立小・中学校長代表の壁谷委員ですが、本日は、所用により欠席となっております。

3 協議事項

(1) 豊川市スポーツ振興計画策定委員会の設置について 資料1

(事務局：戸苅課長補佐)

豊川市スポーツ振興計画策定委員会の設置について、事務局の中村スポーツ課長より説明をさせていただきたいと存じます。

(事務局：中村スポーツ課長)

資料1により説明 ⇒ 質問なし

(2) 豊川市スポーツ基本計画策定委員会委員長及び副委員長の選出について
資料1

(事務局：戸苅課長補佐)

豊川市スポーツ振興計画策定委員会委員長及び副委員長の選出についてですが、資料1の策定委員会設置要綱に基づき、委員長・副委員長の選出をする必要があります。詳細につきまして、中村スポーツ課長より、ご説明させていただきます。

(事務局：中村スポーツ課長)

資料1により説明 ⇒ 委員長・副委員長の自薦、他薦ともになし

事務局案として委員長は、学識経験者の至学館大学の伊藤氏、副委員長はスポーツ推進委員会委員長の柴田氏にお願いしたい。 ⇒ 承認

(事務局：戸苅課長補佐)

それでは、ここで委員長に就任されます、伊藤様よりごあいさつをいただきたいと思えます。

(伊藤委員長：あいさつ)

大変、恐縮であります、ご指名をいただきましたので、あいさつをさせていただきます。平成22年3月に策定された豊川市スポーツ振興計画が計画期間の5年目にあたるとのことで、この計画改訂に関わることができることを光栄に思っております。また、この地は、高校教員や県職員として関わりがあった地でもあるため、大変うれしく思っております。

本業務は、皆様のご理解やご尽力をいただかなければ進めることができませんので、ぜひともご協力をお願いいたします。微力ではありますが、責務を果た

すため一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局：戸苅課長補佐)

ありがとうございました。それでは、引き続き協議を行います。

本委員会要綱第6条の規定に基づき、ここからは伊藤委員長に議長をお願いし、議長の取りまわしのもとで会議を進めさせていただきます。伊藤委員長よろしくお願いいたします。

(3) 国スポーツ基本計画並びにいきいきあいちスポーツプランについて

資料2

(事務局：小木曾係長)

資料2により説明 ⇒ 質問なし

(4) 豊川市スポーツ振興計画（平成22年3月策定）について **資料3**

(事務局：小木曾係長)

資料3により説明

(寺部委員)

計画の改訂は大変な作業だと感じた。

生涯スポーツ振興の中で、現在ほどの地区、どの年代でスポーツが活発に行われているのか？

ファシリティマネジメント、公共施設適正配置計画の関係で、市広報に掲載されていたマンガによる周知は良いPR方法だと感じる。

また、スポーツ振興は誘いあう輪が必要だと思う。スポーツ人口を増やしていかなければならないと感じる。

シティマラソン大会、リレーマラソンなどはいきなり出場は難しいので、歩くことから始める必要がある。実際、音羽川や佐奈川沿いなどは、歩いている人が多くおり、ウォーキングもスポーツであることの認識を広げていく必要があるのではないだろうか。ウォーキング大会などを新設し、景品や賞状を出すなどをすると盛り上がっていくのではないか。

ボランティアについて、ボランティアは無償か？メリットはあるか？

(事務局：小木曾係長)

市内の26小学校区では、体育振興会を中心にスポーツ振興事業を展開している。校区で差はあるが、特に、国府小学校区は多くのスポーツ教室や大会等が開催されており活発に行われている。国府小学校区は、校区の人口規模も大きく、スポーツ推進委員が他校区と比較して多いことから、ニュースポーツの出前講座や中学校区の交流事業なども積極的に実施している。そういった校区

で、総合型地域スポーツクラブを立ち上げることなどもできるのではないかと。

種目では、国府小学校区では、インディアカ・バウンドテニスやカローリング等が盛んに行われている。その他に一宮地区では、わすぼ一宮でも活動種目となっているネオホッケー（室内ホッケー）などが活発に行われている。

地域によって人口規模も異なり、盛んな種目は異なるが、それぞれの地域の特性に応じたスポーツが実施されれば良いと思う。

また、音羽地区の音羽スポーツクラブでは、スポーツ推進委員以外の方も指導者として登録している方も多く、自らの健康増進を目的に活動に参加している指導者もいる。

年代については、20代、30代でスポーツを実施している人の率が低くなっている。「スポーツ」の捉え方や認識が我々が思うところと少し違うのかもしれないと考えている。

PRの仕方について、8月15日号の広報に公共施設適正配置の関係から、公共施設をこれからはどうするか、どうあるべきかとのいう題目で、マンガで紹介されている。このようにこれからは色々な工夫をしたPRが必要であると考えている。

シティマラソン大会は、3kmのジョギングの部を実施しており、親子で参加されている家族や友人・仲間での参加も多くあり、近年、右肩上がりでの参加人数が増えている。記録を目指すのではなく、さわやかな汗を流し、完走を目指す方も増えてきている。競技大会の位置づけを残しながら、多くの人が気軽に参加しやすい大会を目指していきたいと考えている。

市内では、ウォーキングをする人を多く見かける。市としては、ウォーキングについてもスポーツとして捉えている。ウォーキングコースの設定や観光部局で開催している菜の花ウォーキングなどもあるが、いろいろな切り口からスポーツ人口を増やしていきたいと考えている。

ボランティアについては、各イベントで多くの方が参加されている状況。

シティマラソン大会やリレーマラソンでのボランティアは、無償であるが、お礼として参加賞など渡したりしている。ボランティアからは、物が欲しくて参加しているのではなく、参加することによって自分自身の視野が広がったり、自分のためにもなるから参加しているという意見をいただいている。ただ、まだまだスポーツ指導者やボランティアの人材が不足しているので、今後は、人材発掘や募集を積極的にやっていく必要があると感じている。

（伊藤委員長）

数値目標について、秘書課から出ている市民意識調査などの数字を使用して公式の数字として発表しても問題にならないか？

次の計画の数値目標を設定するにあたり、数字が独り歩きすることが怖いと

感じる。数値を公表する以上は、説明責任などがある。今後の展開等を含めどう考えているか？

(事務局：小木曾係長)

数値目標については、前回の計画にも記載し公表している状況。また、秘書課の市民意識調査の数値についても公表されているものである。本計画の上位計画である市総合計画においても数値目標が挙げられている。

豊川市の総合計画は現在第5次の計画だが、第6次の計画策定の作業がはじまりつつある。第5次の数値目標についての検証を行いながら、他課を含め、市民ヒアリングを行っている最中である。昨日、スポーツ課の市民ヒアリングが開催された。今後の市民意識調査等を含め、この策定委員会で議論を深め、計画していきたいと考えている。

(事務局：戸苅課長補佐)

市全体の総合計画には、目標指標があり必ず数値を設定しなければならない仕組みとなっている。市として、目標数値を上げる必要があるが、当然のことながらこれに対する取組みの成果についても検証していくこととなり、説明責任も求められる。本計画における数値目標は、今後この策定委員会で決めていきたい。

(伊藤委員長)

数値目標に対する取組み成果や検証がしっかりと事務局でできれば問題ありません。よろしくをお願いします。

(5) 豊川市スポーツ振興計画策定に伴うスケジュールについて 資料4

(事務局：小木曾係長)

資料4により説明 ⇒ 質問なし

市民意識調査のデータ抽出や業務委託の発注準備が少し遅れているので、調査期間は9月中旬から下旬の2週間になる見込みである。

今後、策定委員会は12月と2月の2回開催させていただく予定である。

(伊藤委員長)

今後は事務局提案のスケジュールを基に作業を進めていくので、よろしくお願ひしたい。 ⇒ 承認

(6) 豊川市のスポーツに関する市民意識調査について 資料5

(事務局：小木曾係長)

資料5により説明

<前回からの変更点>

- ・旧小坂井町の合併に伴いサンプル数（無作為抽出）を増加させる。

サンプル数 1,600人⇒2,000人

- ・市の住民基本台帳のシステムが大きく変更になったため、前回の調査で使用した各世代等の人数比率のとおりサンプル数を抽出できない可能性がある。この場合は、各世代の人口比率に応じたサンプル数を抽出することとなる。

<調査表について>

- ・前回の設問項目から大きな変更はないが、一部設問を増やしていたり、文言等をわかりやすく変更するなどしている。 ⇒ 変更点の説明

(寺部委員)

ボランティア活動を今後やりたいという回答があった場合に、申込方法・申込先は？

医者との連携をとって、健康診断の際に紹介できるスポーツ活動があると良いのではないかと。

(事務局：小木曾係長)

スポーツ指導者・ボランティアの登録については、教育委員会スポーツ課が窓口となる。

学校・地域を始めとして、いろいろな機関と連携を図ることは大切であると思う。

(浅野委員)

昨日開催された、第5次総合計画の市民ヒアリングの中に20歳以下にも調査をすると良いとの意見があったと思いますが、どうですか？

(事務局：中村スポーツ課長)

今回の市民意識調査において、対象を子どもへ拡大する予定はないが、子ども達の意見を聞くのも大事であるので、今後検討していきたい。

(伊藤委員長)

前回の調査内容が変わると数字等が変わるので、そのことも踏まえて検討していただきたい。

(北国委員)

市民意識調査において、「スポーツ」の概念を分かりやすく標記するなど工夫が必要ではないか。

調査の各世代の割合について、全国はどのようになっているのか？一度検討が必要ではないか。また、豊川市の調査は、20歳代以上となると小中高の学生が入っていないが、全国ではどうか？

(事務局：近藤部長)

いただいたご意見等については、市民意識調査を実施するまでに再度部内で検討をさせていただきたい。

調査対象については、母数を変え過ぎてしまうと比較することが難しいため、前回と同じ条件で行いたいと思うが、システムの変更があるので人口比率に応じた抽出に変更する可能性があることをご承知おきいただきたい。

本対象から外れている世代については、本調査とは別に行うなどの方向で検討していきたい。

次回策定委員会は、12月に開催予定であるので、市民意識調査については、部内で再度検討し、委員長・副委員長さんとも相談しながら実施をしていきたい。

(伊藤委員長)

今後は事務局提案を基に作業を進めていくので、よろしくをお願いします。

⇒ 承認

(7) その他

(伊藤委員長)

協議事項に関連して委員の皆さんから何か他にありますか？ ⇒ 特になし
事務局からは何かありますか？

(事務局：中村スポーツ課長)

ご意見等ありましたら、計画策定に係るものについては、8月19日（火）まで、市民意識調査に関わるものについては、8月15日（金）までに所定の様式にてスポーツ課までご連絡いただくようお願いいたします。

(伊藤委員長)

皆様の協力によりスムーズに議事が進行できました。ありがとうございました。

4 その他

(事務局：戸苅課長補佐)

その他、協議事項以外で何かありますか？ ⇒ 特になし

閉会

(事務局：戸苅課長補佐)

以上で第1回豊川市スポーツ振興計画策定委員会を終了させていただきます。本日は、大変ありがとうございました。また、今後ともよろしくをお願いします。